



②対象国又は同類似地域での業務経験	8点
③語学力	16点
④その他学位、資格等	16点
	(計100点)

類似業務	研修計画・管理に係る各種業務
対象国／類似地域	エチオピア／全途上国
語学の種類	英語

## 5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等：特になし
- (2) 必要予防接種：なし

## 6. 業務の背景

エチオピアでは、安全な水へのアクセス率は58%（WHO/UNICEF,2015）と、サブサハラアフリカ諸国平均の68%と比較しても極めて低い状態にある。これに対し、2016～2020年の国家計画であるGrowth and Transformation Plan（以下、GTP II）では、全体で83%（都市部：75%、村落部：85%）まで改善する目標を立て、水資源開発及び給水事業を進めている。一方、井戸掘削を担う技術者やポンプ・発電機などの維持管理を担当する技術者をはじめ、水道サービスを担う技術者の数が著しく不足しており、水セクター最上位計画である「国家給水衛生向上計画（UAP：Universal Access Plan）」では、今後20,000人の技術者の育成が必要とされている。

我が国は、1998年1月から2013年11月の約15年間に及び、水分野の技術研修・訓練を担うEthiopia Water Technology Center(EWTEC)の能力強化を通じて、約4,000人の水分野に従事する技術者の育成を支援してきた。その成果が評価され、EWTECは2013年8月にEthiopian Water Technology Institute（和名：水技術機構 以下、EWTI）へと組織改編され、水・灌漑・電力省（以下、MoWIE）の一プロジェクトという位置づけから国立公益機関へと昇格した。その結果、EWTIは水分野における人材育成の中核機関として位置づけられ、エチオピアの職業規格（EOS：Ethiopian Occupational Standard）に沿った長期研修や職業訓練機関の講師育成（TOT）、水分野の実務者向けの短期研修の実施が期待されることとなった。

しかしながら、組織改編後のEWTIにおいては、職員の離職や経営層のイニシアチブの低下等により、具体的な経営体制整備計画や講師確保・教材整備等の研修実施に必要な体制整備計画が策定されておらず、EWTEC時代から実施している短期研修以外の研修については、実施の目途が立っていなかった。係る状況を踏まえ、我が国は、2015年に水技術機構アドバイザーを派遣し、水分野における労働力需要及び職業訓練機関の運営に関する各種制度・条件の分析を支援し、EWTIの能力強化を図るとともに、体系的な研修を実施するための組織・研修管理上の課題を分析した。その結果、EWTIは職員の雇用や新規研修コースの立案等を進めているものの、組織・研修マネジメント体制が脆弱であるほか、講師の指導力が不足しているため、計画的かつ体系的な研修を実施することができていない状態にあることが判明した。

以上より、EWTIの組織・研修マネジメント体制を強化し、もってEWTIの研修の質の改善に寄与することで技術者の継続的な育成に貢献することを目的に、エチオピア

側から本プロジェクトの実施が要請された。本詳細計画策定調査では、プロジェクトによる協力期間とプロジェクトの妥当な到達目標を設定し、C/P機関と協議・合意することを目的としている。

## 7. 業務の内容

本業務の業務従事者は、技術協力プロジェクトの仕組み及び手続きを十分に把握の上、他の業務従事者や調査団員として派遣されるJICA職員等と協議・調整しつつ、担当分野に係る協力計画策定のために必要な以下の調査を行う。

### (1) 国内準備期間（2016年10月中旬～10月下旬）

- ・プロジェクトの背景情報（過去のEWTEC支援や水技術機構アドバイザーの報告書等）に係る情報を収集し、EWTIの研修実施体制に係る課題を分析する。
- ・関連報告書等を分析し、エチオピアの開発計画における本プロジェクトの位置づけや、水分野における政策・制度の現状、水セクターの開発動向を把握する。
- ・他ドナー（Unicef、USAID等）が実施する関連プロジェクトに関する情報収集、分析を行う。
- ・水技術機構アドバイザーの報告書等を踏まえ、本体プロジェクトで支援を行う研修コースの選定方針（案）を作成する。
- ・収集した情報を踏まえ、担当分野に係る調査方針・計画（案）を作成する。
- ・PDM・PO（案）（英文）の検討を支援する。
- ・水・灌漑・電力省（MoWIE）、EWTI、他ドナー等に対する質問票（案）（英文）を作成する。
- ・事前勉強会、対処方針会議等に参加する。
- ・評価分析団員の担当する「詳細計画策定調査報告書 目次(案)」の作成に協力する。

### (2) 現地派遣期間（2016年11月上旬～11月下旬）

- ・JICAエチオピア事務所、エチオピア側関係機関、他ドナーとの打合せに参加する。
- ・要請の背景及び内容を確認する。
- ・MoWIE及びEWTIに対して、担当分野に係る調査方針及び計画を説明する。
- ・以下の項目に関する情報を収集・整理し、EWTIが体系的に研修を計画、管理、実施する上での課題を特定する。また、整理した情報を各団員に共有する。

－EWTIの研修計画策定・実施（第三国研修含む）・評価（研修後のフォローアップ含む）に係る実施体制及び手法

－州水資源局・郡水事務所・水道公社・職業訓練校（TVETC）・民間企業等に所属する技術職員の職務

－現行の年間研修計画・研修カリキュラム、シラバス、研修モジュール、研修概要（テキスト含む）

※分析する研修概要は、労働力需要調査の結果に基づきWater supply engineering、Electro-mechanical machinery maintenance、Drilling technology、Drilling machinery maintenanceの4コースを想定している。なお、内容分析はJICA本部の国際協力専門員に依頼することを可とする。

本コンサルタントは、国際協力専門員に調査結果（案）とテキストを送付し、現状のEWTIの研修内容と技術者等の実務能力向上に係るギャップ分析を依頼すること。

- －研修講師数、研修生数（過去5年分）、授業時間数（年）、年間活動予定、時間割の概要
  - －研修講師の職務経歴、及び研修講師の指導能力<sup>1</sup>
  - －他機関（大学や水道公社等）との研修実施における連携状況
  - －研修計画・管理・実施における外部委託の状況、及び外部委託に係るEWTIの方針
  - －現行の研修施設・機材の活用状況、及び新オフィスの施工状況・スケジュール
- ・既存資料及び現地で収集した情報に基づき、本体プロジェクトで支援対象とする研修コースの選定方針（案）を見直す。
  - ・評価分析団員が主催するPDM協議に参加し、担当分野の観点から結果の取りまとめに協力する。
  - ・他団員と協力し、本プロジェクトの実施体制（案）を検討する。
  - ・プロジェクトを実施するにあたって想定される成果・活動・投入規模、実施に当たっての留意事項を整理する。
  - ・プロジェクト開始までのスケジュール及び先方負担事項、並びにプロジェクト開始の前提条件検討に協力する。
  - ・上記調査結果を踏まえ、PDM・PO(案)(英文)、M/M・R/D(案)(英文)、現地調査結果報告書(和文)の作成に協力する。
  - ・担当分野に係る現地調査結果をJICAエチオピア事務所等に報告する。

### （3）帰国後整理期間（2016年12月上旬～12月中旬）

- ・帰国報告会に出席し、担当分野に係る調査結果を報告する。
- ・収集資料を整理・分析する(収集資料リスト作成、担当分野に係る質問票への回答の整理等)。
- ・本体プロジェクトで実施する訓練ニーズ調査の範囲、内容及び積算（案）を作成する。
- ・担当分野に係る詳細計画策定調査報告書(案)(和文)を作成する。また、評価分析団員による報告書の取り纏め作業に協力する。
- ・事業事前評価表（案）（和文）の作成に協力する。
- ・本プロジェクトで想定される活動に係る投入計画について、担当分野の観点から検討を行う。

## 8. 成果品等

コンサルタントが作成ないしは提出する資料は下記のとおり。うち、本業務の成果品は（1）とする。

- （1）担当分野に係る詳細計画策定調査報告書（案）（和文）
- （2）収集資料一式

<sup>1</sup> 「キャパシティ・ディベロップメントに関する事例分析：水道人材育成分野」を参考にすること。  
(<http://libopac.jica.go.jp/images/report/252763.pdf>)

(3) 協議議事録

※全て電子データで提出することとする。

9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約における見積書作成ガイドライン」

(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>) を参照してください。留意点は以下のとおりです。

(1) 航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含めます(見積書上に積算してください)。現地渡航回数は1回を想定しています。標準渡航経路は東京ードバイーアディスアベバとします。

10. 特記事項

(1) 業務日程／執務環境

①現地業務日程

現地派遣期間は2016年11月6日～11月26日を予定しています。

JICAからの調査団員は本業務従事者より1週間遅れて現地調査を開始し、本業務従事者と同時に現地調査を終える予定です。

②現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

- ア) 総括 (JICA)
- イ) 協力企画 (JICA)
- ウ) 経営／組織体制強化
- エ) 研修計画・管理 (本コンサルタント)
- オ) 評価分析

③便宜供与内容

JICA地球環境部、及びエチオピア事務所による便宜供与事項は以下のとおりです。

- ア) 空港送迎  
あり
- イ) 宿舎手配  
あり
- ウ) 車両借上げ  
全行程に対する移動車両の提供
- エ) 通訳傭上  
なし
- オ) 現地日程のアレンジ  
JICAがアレンジします。
- カ) 執務スペースの提供  
なし

(2) 参考資料

・本業務に関する以下の資料が、JICA図書館のウェブサイト

(<http://libopac.jica.go.jp/>) で公開されています。

- 【技術協力】地下水開発・水供給訓練計画フェーズ1 終了時評価報告書  
(2004年)

[http://libopac.jica.go.jp/images/report/11707023\\_01.pdf](http://libopac.jica.go.jp/images/report/11707023_01.pdf)

- 【技術協力】地下水開発・水供給訓練計画フェーズ2 事業完了報告書  
(2008年)

[http://libopac.jica.go.jp/images/report/12233409\\_01.pdf](http://libopac.jica.go.jp/images/report/12233409_01.pdf)

- 【技術協力】地下水開発・水供給訓練計画フェーズ3 事業完了報告書  
(2013年)

<http://libopac.jica.go.jp/images/report/12129250.pdf>

- 【個別専門家】水技術機構アドバイザー（職業訓練需要調査）（2015年）

<http://libopac.jica.go.jp/images/report/1000026823.pdf>

- 【個別専門家】水技術機構アドバイザー（職業訓練機関運営）（2015年）

<http://libopac.jica.go.jp/images/report/1000026825.pdf>

- ・ 本業務に関する以下の資料を、地球環境部水資源グループ（[gegwt/@jica.go.jp](mailto:gegwt/@jica.go.jp)）にて配布します。

- GTP II
- EWTI組織改編関連資料一式
- EWTIの既存研修モジュール（JICA入手分）

### （3）その他

- ① 業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。
- ② エチオピア国内での活動においては、JICA安全管理措置を遵守するとともに、JICA総務部安全管理室、JICAエチオピア事務所の指示に従い、十分な安全対策措置を講じることとします。また、現地業務に先立ち外務省「たびレジ」に渡航予定の業務従事者を登録願います。
- ③ 本業務の実施に当たっては、「JICA不正腐敗防止ガイダンス（2014年10月）」の趣旨を念頭に業務を行うこととします。なお、疑義事項が生じた場合は、不正腐敗情報相談窓口またはJICA担当者に速やかに相談してください。

以上